

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和5年1月13日

事業所名: 児童発達支援センターひまわり

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	7	4	1	人数に応じて、共有スペースを変えている。	40	2	0	2	部屋は少し狭いかなと思います。外でも中でも楽しく遊べている。	児童の発達状況に対応した環境づくりへの検討を行っていく。
	2 職員の適切な配置	1	6	5	急な欠勤の場合も支援は薄いが、状況の共有を常に行っている。	37	2	0	5	先生が常にそばにいらしているので安心してます。お忙しいので、増員されても良いのかなと思います。	児童の状況に応じて、職員間でより効率な連携を図るために適切な職員配置を考えていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	6	4	2	児童の状況に配慮したカードやスケジュールを作成し、スムーズに行動できるようにしている。	39	2	0	3	食事の部屋、トランポリン、サーキット動物のマークが部屋にあって子どもはわかりやすい。	安全面を考慮しながら、機能的な安全空間を確保していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	9	2	1	降園後、毎日の清掃及び金曜日の大掃除で、常に清潔な生活空間に努めている。	40	2	0	2	虫がすごく嫌いで、外の流しや滑り台など虫が多く発生し、死骸やくもの巣がはっていて、使えないときがある。	現在の清掃で見逃している箇所等を確認し清潔な生活空間に努める。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	2	8	2	保護者へのアンケート等を活用し、職員会議等で業務改善に関する話し合いを持つようにしている。						日頃から、PDCAサイクルを意識した業務を進めるために、具体的な目標を立て、適切な評価ができるように取り組んでいく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	4	8	0	外部講師の意見を参考に業務改善に努めた。						常に、外部関係者からの助言や指導に耳を傾け、積極的に業務改善に取り組んでいく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	6	4	2	オンライン研修や外部講師を招いての研修機会を確保している。						積極的にオンライン研修を取り入れ、業務に支障がないように配慮しながら職員の研修機会の場を確保していく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	8	4	0	保護者交流会や個別懇談会等に実施により適切なアセスメントが行えるよう努めた。	39	3	0	2	私たちの(子ども)思いなどを聞いて下さり、こちらに沿った支援計画を考えてくれました。	適切なアセスメントができるように職員間での研修等を通じて資質、向上に努める。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	9	3	0	年間計画を作成する中で、3カ月ごとの見直しにより、成長やニーズにあった支援内容に心掛けている。	40	1	0	3	支援に必要な目標や目的を考えていただき、こちらに沿った支援をしていただいています。	保護者との対話を大切にし、きめ細かな支援を継続していく。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	9	3	0	各組での個別活動以外に他の組との交流によるグループ活動を取り入れての支援を行った。						児童が意欲的に取り組める活動を外部講師の助言も参考にしながら、実践していく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供（続き）	4	11	1	0	組ごとの話し合いにより、今後の課題や支援方法を明らかにし適切な計画を立てるようにした。	40	2	0	2	子どもとの関り方など相談すれば丁寧に教えてくれる。	全職員が支援内容を共有し、児童の対応について情報交換し、園全体で取り組めるように努める。	
	5	8	4	0	組ごとのリーダーが意見を集約し、企画検討会等で立案したプログラムを職員会議で検討する。						活動プログラムの反省を基に改善点を職員会議等で話し合っ、よりよい活動の場を提供できるようにする。	
	6	7	5	0	子どもの状況をみながら、季節やニーズに応じたプログラムを作成した。	36	1	0	7	子どもに沿ったスケジュールを考えて下さり、体を動かしたり工作をしたりと工夫をしてくれています。	常に、児童の状況に応じた活動のアイデアを出して、マンネリ化しないように努める。	
	7	2	9	1	電話やメールで連絡を取って、情報交換を行っている。						情報交換できるように連絡体制を整備し、丁寧な対応に心掛けていく。	
	8	9	3	0	毎朝のミーティングにより、児童の状況を職員間で共有し、常に役割等について確認し合っている。						毎朝の話し合いを継続的に行い、漏れないよう職員間での情報提供、情報共有に努める。	
	9	10	2	0	組のリーダーが必要な情報を収集した気付いた点を朝のミーティングで共有するように努めた。						その日の支援につて、適切な対応ができたどうか組間で意見交換し、朝の話し合いで情報共有していく。	
	10	11	1	0	日々の児童の状況を正確に記録し、一日の様子を振り返り、業務の改善役立てるようにしている。						きめ細かな記録の作成を徹底し、よりよい支援体制を考えていく。	
	11	10	2	0	モニタリング等を通して、支援計画の実施確認、見直しを行うようにした。						定期的にモニタリングを実施し、児童の発達に応じて、具体的な支援方法を検討し、支援計画を作成していく。	
	関係機関との連携	1	9	3	0	業務に支障のないように工夫しながら、積極的にサービス担当者会に参加し、会議内容を職員間で共有するにした。						国や県の制度について、注視しながら可能な範囲で参加できるようにしていく。
		2				非該当						
		3				非該当						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携（続き）	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	6	5	1	他の在籍園や卒園後の支援学校等に出向いて、支援内容や方法について意見交換を行った。						保育所等訪問支援等を利用し、継続して情報共有に努める。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	4	8	0	サービス事業所等との連絡を密に支援における具体的な方法等の情報提供を行った。						児童が円滑に移行できるように努め、連絡を密にできる限り情報提供を行っていく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	4	7	1	オンライン研修への積極的な受講や発達支援通園事業連絡協議会等への参加に努めた。						様々な研修に参加できるように人員の配置を考慮しながら、できる限り受講できる体制を考えていきたい。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	1	2	9	併行通園の児童は、在籍園で障がいのない子どもと活動する機会の場があるが、毎日通園の児童はコロナ禍の中では交流する場を提供することができなかった。	18	0	5	21	人見知りなところもあるので、苦手かも知れませんが、このような交流の場が欲しいです。	施設の現状を踏まえ、様々な角度から検討をしていきたい。
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に関わられた事業の運営	1	2	9	コロナ禍の影響により、外部との交流に慎重になっている。また、地域行事も取り止めることが多く地域に関わられた事業運営が難しくなっている。						現在の環境の下では実現が難しい状況であるが、安全、安心を確保できるかを判断しながら検討していく。	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	9	3	0	制度変更があった場合は、連絡文書での説明や保護者の来園時に、丁寧に説明するように努めている。	42	2	0	0	支援内容などは、私の意見なども聞いていただき、一緒に考えてくださっています。	個人懇談会等で継続して支援内容や利用者負担等について継続して丁寧に説明するよう努める。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	11	1	0	児童の状況をみながら、支援計画（毎日：3カ月、併行通園：半年）の見直しを行い、個人懇談懇談会で説明している。	40	2	0	2	私の意見を取り入れて下さり、とても丁寧に説明してくれました。	保護者と接する機会ごとに丁寧に説明を行っていく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	1	9	2	組ごとに保護者の意見交換は活発に行っているが、保護者の対応力の向上には至っていない。ペアレント・トレーニング等への取り組みも考えてみたい。	24	6	5	9	園で覚えた事や学んだ事は家庭でも取り入れるようしている。たくさん話しが聞けたら嬉しいです。	児童の状況に応じて、保護者の意向も考慮して、保護者の学びの場づくりに取り組んでいく。
4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	10	2	0	日々の連絡ノートや懇談会などで児童の様子を伝え、また保護者からも家庭の様子を聞くなどして共通理解を図っている。	40	3	0	1	お迎えの時に今日あったことを言ってもらえるので様子がわかる。時々、子どもの状況などが担任の先生に伝わっていないときがある。	保護者との信頼関係を深め、対話を重視しながら相談しやすい環境を作っていく。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	11	1	0	個人懇談会や保護者の集会で、子育ての悩み等の関わりがもてるようにしている。	37	4	1	2	面談では悩みやアドバイス等、親身になって聞いて下さいました。可能であれば障がいのない子どもたちと交流する機会を作ってほしい。	職員の研修を深めるとともに、常に共に考える姿勢で相談活動を行っていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	5	5	2	保護者交流会等を通じて、保護者同士の連携が保てるように努めている。	14	6	8	16	コロナもあったせいか、父母の会などはなかったと思います。交流会があり、他の保護者の方とお話する機会を設けていただいています。	様々な行事等で保護者同士が関わる機会の場を可能な限り提供するように努める。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	8	4	0	苦情等については、職員みんなが共有し、迅速に対応するようにしている。	21	0	0	23	苦情等を耳にしたことはありませんが、その時は丁寧に対応してくれると思います。	苦情に対しては、真摯に受け止め、施設運営の改善を迅速に対応していく。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	10	2	0	子ども状況に応じて、カードや写真等言葉かけにより意思疎通等に配慮している。	40	2	0	3	お迎えの時に先生とお話ができる。子どもは毎日「今日は〇〇したよ」などその日に起こった事を楽しく伝えてくれます。	保護者との意思疎通ができるように個々に応じたよりよい対応が取れるようにしていく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	12	0	0	毎月の園だよりやお知らせのプリントを配付している。また、緊急時にはメールを活用して情報発信している。	25	1	0	18	おたよりなどで活動の様子が行事予定など、発信してくれています。助かっています。	保育園だよりやホームページでの情報発信で適切な時期の情報提供に努める。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	10	2	0	常に職員間で個人情報の取扱いにチェックしながら個人情報保護規定に則った業務を行っている。	39	1	0	4	十分、気を付けて下さっていると思います。	常に危機感をもって個人情報の取扱いには十分に配慮し、油断することなく取り扱うようにする。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	8	4	0	契約時に説明するとともに、緊急時に職員や保護者への連絡方法も整備し、周知徹底に心掛けている。	27	1	2	14	メールや用紙でのお知らせがある。避難するときの状況など、説明して下さります。	全職員が各マニュアルを熟知するとともに、緊急時の保護者への連絡手段を日頃から整備するように努める。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	12	0	0	施設内での災害を想定し、毎月一回避難訓練を実施し、緊急時対応に備えている。	25	0	0	19	定期的に行われています。	児童の安全を考えながら、緊急時において、迅速な対応が取れる訓練を継続して行っていく。
3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	11	1	0	職員間でのミニ研修の中で児童虐待について話し合いを行ったり、外部講師を招聘しての研修を実施している。						職員会議等を利用して、虐待防止についての話し合いを設ける。また、外部講師を招聘して、研修を通じて虐待予防を考えていく。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応 (続き)	4	5	6	1	身体拘束の必要な利用者はいないが、必要になった場合も想定し、常に職員間で様々な観点から意見を出し合い支援方法を検討している。						身体拘束について、常に職員間で様々な観点から意見を出し合い児童の支援方法を検討していく。
	5	9	3	0	食物アレルギーの聞き取りや毎月の給食変更依頼を通じて、給食検討委員会で栄養士と指導員が給食献立の確認を行っている。						給食検討会で、栄養士の指導を仰ぎながら、食物アレルギーの児童に適切な献立を提供できるように検討していく。
	6	8	1	3	毎月ヒヤリハットの提出期限を設け、記録を促すとともに職員会等での報告で共通理解を持つようにしている。						ヒヤリハット事案を見逃すことなく確実に記録し、施設内の安全で安心な環境づくりに努める。

○令和4年ひまわりへの苦情は0件でした。